

㊦キドキいっぱい㊦ラエティーに富んだ㊦イスラム教の国 ド・バ・イ

DJSの三大行事

DJS(ドバイ日本人学校)には、三大行事と呼ばれるものがあります。まずは6月の音楽発表会。これは1・2年生、3・4年生、5・6年生、そして、中学生の4つの学年ブロックに分かれて、合奏や合唱を披露します。今年の5・6年生は、合唱で「世界に一つだけの花」を歌いました。合奏では、映画「天使にラブソングを」の主題歌である、「I Will Follow Him」を演奏しました。



高学年(5・6年生)の合奏の様子。



熱沙祭の劇で熱演するDJSの子ども達。

次に10月の熱沙祭。これも、音楽発表会同様、4つの学年ブロックに分かれて、それぞれのブロックで劇の発表を行います。中学生は台本も自分達で考え、創作劇に挑戦します。

そして、最後の三大行事が1月の運動会です。今年は、2月1日(金)に行われました。ドバイ通信NO.2では、運動会についてお伝えします。

大成功の運動会!!

運動会の日程を初めて聞いた時は「1月に運動会?!」と驚きましたが、ドバイの気候を1年間経験して納得です。1月~2月にかけては、日本の5月下旬のような気候なので、運動するにはちょうど良い気温なのです。

DJSの運動会は、ドバイ日本人会の運動会と共催で行われます。ですから、日本人学校の子も達の種目だけでなく、ドバイ在住の日本人やその家族、インターナショナルスクールに通っている子ども達なども一緒に参加します。



日本人学校の児童生徒だけでなく、インターナショナルスクールに通っている子も参加する二人三脚。大人数で盛り上がります。

DJSの子ども達は(白、赤、青、黄)の4色に分かれて競い合います。12月に組分けが発表され、その日から、中学生を中心に、ダンスの練習が始まりました。



組分け発表の様子。中学生のリーダーが、一人ずつ名前を呼んで発表します。名前が呼ばれるたびに歓声が上がります、一人ずつハイタッチで迎えます。

1月からは種目の練習も始まり、どのチームも優勝目指して一生懸命に取り組みました。中学生が小学1年生に優しく教える姿がたくさん見られ、関わり合いが育っていることを改めて感じました。

〈練習の様子〉



「ザウバー」という競技。初めは、三人四脚や四人五脚のリレーを行います。バトンをわたしたら、横一列に並んでいき、最後は、チーム全員で足を結び、30メートル先のゴールを目指します。



下学年リレーの練習の様子。バトンの受け渡しの仕方や待つ位置などを高学年のお兄さんやお姉さんにしっかり教わります。

応援合戦で行う創作ダンスは、選曲、振り付けなどすべて中学生が考えました。応援合戦は得点には入りませんが、各チームいろいろな音楽に合わせて、趣向を凝らした応援を行います。日本の運動会では、高学年が組体操をしたり低学年がダンスを披露しますが、DJSの応援合戦はそのような感覚に近いと思います。今年は、若者向けのポップな音楽で踊る組が多かったのですが、洋楽の曲でミュージカルのように踊る組もありました。

〈応援練習の様子〉



どの組も、中学生のリーダーが中心となって、ダンスの振り付けを覚えました。中学生がこの運動会を通して、大きく成長したことを実感しました。

〈運動会当日の様子〉

DJSの合い言葉「**一生懸命がかっこいい**」にふさわしい、みんなが何事にも真剣に取り組んだ素晴らしい運動会でした。



三人四脚では、声を掛け合い、心を合わせて前に進みました。



徒競走では、最後まで全力で一生懸命に走りました。

なんと今年は、DJS初の青組・黄組同点優勝となりました!!

